

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：沖ノ橋認定こども園	種別：幼保連携型認定こども園
代表者氏名：山 田 豪	定員（利用人数）：115名（114名）
所在地：岐阜市沖ノ橋町2丁目15番地	
TEL：058-251-1856	ホームページ： https://www.wakokai.ed.jp/okinohashi/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成20年4月1日(平成28年4月1日幼保連携認定こども園移行)	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人和光会	
職員数	常勤職員：29名 非常勤職員 10名
専門職員	（専門職の名称）名
	保育教諭 24名 保育教諭 6名
	看護師 1名 保育士 1名
	管理栄養士 1名 調理師 1名
	調理師 2名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
	保育室 6室(0歳児～5歳児) 遊技室 1室 調乳室 1室 調理室 1室 一時預かり室 1室

③理念・基本方針（※転載）

【法人理念】みんなを笑顔に

<バリュー> 【めざす姿】どんなときも安心して笑顔で暮らせる地域社会の創造

【私たちの使命】現状に満足せず挑戦し、地域をリードする

【園の理念・方針】

一人ひとりを大切にし、生きる力を育みます。

地域に根ざし、子育て支援の拠点を目指します。

意欲と知恵と工夫により、子どもの幸せを実現します。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

1. 一人ひとりの発達や成長に応じた個々への関わりを大切にした保育を行っている。
2. 地域の方との関わりを大切にした活動を継続している。
3. 子どもたちの自主性を大切にした遊びこめる環境を提供している。
4. 保育の質の向上に努めている。
5. 風通しの良い職場環境づくり、人間関係づくりに取り組んでいる。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 7 年 6 月 1 8 日（契約日） ～ 令和 8 年 3 月 3 1 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	4 回（令和 2 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

<子どもの尊厳を守る丁寧なプライバシー配慮>

法人が定める個人情報保護規定に基づき、園全体で子どもと保護者のプライバシーを尊重する姿勢が一貫して示されている。日々の保育においては、排泄や着替えの際にパーテーションを用いる等、限られた空間であっても子どもの尊厳を守るための環境に配慮が行われている。また、写真や動画の取り扱いについても、保護者の意向に基づき登録制で管理し、同意を得て実施する等、情報発信における安全性と透明性を確保する体制が整えている。これらの実践は、プライバシー保護を園の重要な行動原理として位置づけていることの現れである。

<意欲を育む保育観と安心の環境づくり>

保育者が研修や先輩職員からの学びを通して、子どもの内面の育ちを丁寧に理解しようとする姿勢が根づいている。経験の浅い職員も継続的に学ぶ機会が確保されており、そのことが子どもの安心感や育ちの保障につながっている。できたことだけを評価するのではなく、「やってみよう」とする意欲を大切にする保育観が共有され、十分な職員配置のもとで一人ひとりが伸びやかに過ごせる環境が整えられている。

<理念が息づく子育て支援の場と子ども理解>

園が掲げる「子ども一人ひとりを大切にし、生きる力を育む」という理念・方針は、単なるスローガンではなく、保育・教育に関わるあらゆる文書に一貫して明記され、日々の実践の軸として丁寧に共有されている。こうした明確な理念のもとで、職員は子どもの姿をどのように捉えるか、行動の背景にどのような意味があるのかを保護者とともに考え、理解を深める機会を大切にしている。その結果、園は保護者にとっても、子どもの育ちを共に見つめ、安心して相談できる貴重な子育て支援の場となっており、理念が実際の関わりにしっかりと息づいていることが見て取れた。

<食への興味を育む丁寧な食育の取り組み>

食育を生活の一部として位置づけ、子どもの主体的な学びを支えるという園の姿勢のもと、管理栄養士が園独自の献立作成にとどまらず、調理員と連携して栄養素や食材について子どもに伝える等、日々の食事を通して「食への興味」を育む取り組みを丁寧に進めている。また、園舎屋上に畑を整備し、子ども自身が野菜づくりを体験できる機会を設けることで、食材への理解や育つ過程への関心が自然に深まる環境を整えている。

＜全職員で共有するための丁寧な会議体制＞

園内で行う会議を、全体会議だけでなく学年ごとに分けて実施することで、議題に応じた深い検討が行える体制が整えられている。また、時間帯に制約のあるフリーの保育者も参加しやすいよう、可能な時間に合わせて会議を設定する等、職員全員が関われるよう配慮されている。さらに、議事録を丁寧に回覧し、出席の有無にかかわらず全員が同じ情報を把握できるよう情報共有の仕組みが確保されている。

◇改善を求められる点

＜さらなる質の向上に向けて＞

今後とも現状に満足することなく、さらに理想を高く掲げ、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、今後、多様化する地域の子育て支援ニーズに対応した保育サービスの提供に邁進していただくことを期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価の受審は、全職員にとって園運営および保育実践を見直す貴重な機会となりました。現状を客観的に把握する中で多くの課題に気づき、それらの改善に向けて職員間で協議を重ねることで、保育の質の向上に取り組むことができました。

引き続き、地域や保護者のニーズに応えた子育て支援を行うとともに、一人ひとりに丁寧にあたたかい保育、保護者に寄り添った支援を大切に、安心・安全なこども園運営に努めてまいります。

今回の評価結果を踏まえ、園内研修や自己評価の充実に取り組みを継続し、より質の高い保育の実現を目指してまいります。

また、令和8年度中には、新園舎での運営開始を予定しております。新たな環境のもと、地域に信頼され、愛されるこども園となるよう、職員一同さらなる努力を続けてまいります。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 法人理念である「みんなを笑顔に」に基づき、2つのバリュー（大切にする価値観）と3つの基本方針が明文化されている。また、保育・教育目標も分かりやすく示されており、当園が大切にしている方向性や理念の具体的な姿勢が読み取れる。理念、基本方針、目標については、朝礼や職員会議等の場を通して、職員への周知が行われている。利用者への周知についても、園内掲示、パンフレットやホームページでの掲載、入園式等の機会を活用し、説明を通して保護者等に丁寧に伝える取り組みが行われている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 保育制度や社会福祉事業の動向については、行政や関係機関からの情報提供、研修への参加等を通して把握に努めている。また、地域の子育てニーズについても、育児相談や園庭開放、子育て支援事業を通じて継続的に収集している。法人本部の子育て支援事業部が地域ニーズや経営状況を分析し、利用者数や利用率、コスト状況等を踏まえて経営管理を行っている。外部専門家による監査や第三者委員への相談も取り入れ、改善点の明確化と適正な運営の維持に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
③	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 地域の子育てニーズへの対応や人材確保、保育の質向上等の経営課題を明確にし、デジタル化を含む改善に取り組んでいる。園児数や公定価格の変動があった際は関係部署と連携して協議し、専門家の助言を踏まえて対応を進めている。また、処遇改善は行政の指導を受けながら進め、キャリアアップ研修も含めて職員へ丁寧に説明し、理解促進や働きやすい環境づくりに努めている。		

改善できる点／改善方法：

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 法人では、5カ年計画を策定し、中・長期ビジョンを明確にしている。これらの計画は園運営の全体を見通した内容となっており、具体的な実施項目を示すことで課題や今後の方向性を把握できるようになっている。また、医療・介護・福祉・子育ての事業を展開する法人のスケールメリットを活かし、質の高いサービスを継続するための中長期的な取り組みを進めている。認定こども園としては、地域の最新の要望やニーズを踏まえた役割を意識し、実施状況の分析を行いながら、職員が一体となって計画を着実に推進している。		
改善できる点／改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 中・長期計画を踏まえて年度ごとの事業計画を策定し、運営目標や方針をもとに園運営全般の課題と改善策を整理している。法人では理事長方針を明文化して周知し、事業所ごとの目標や成果を数値化して達成度を確認しながら、職員が一体となって計画を推進できる体制を整えている。		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 事業計画はリーダー会議や職員会議等で職員の意見を取り入れて策定し、年度初めの会議や研修で周知している。法人からは理事長方針が示され、事業計画や目標を朝礼や会議で共有している。事業所目標は職員が参画して作成される等、職員が主体的に取り組める体制を整えている。		
改善できる点／改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 事業計画の周知は、園内掲示やメール配信、入園式等の機会を通して行っている。年度初めには年間計画を保護者へ配布し、「教育及び保育の全体的な計画」を掲示して理解を促している。クラスでは		

年度初めに具体的な取り組みを話し合い、毎月の通信やホームページで情報を共有し、メールでの質問にも丁寧に対応しながら、保護者と協力のもと周知に取り組んでいる。
改善できる点／改善方法：

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 ㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 自己評価は毎年、定められた基準に基づいて職員間で実施し、結果を分析して改善につなげている。また、第三者評価も定期的に受審し、透明性の確保に努めている。日々の保育では保育日誌で振り返りを行い、園長や主幹保育教諭が確認・助言することでPDCAを回し、全クラスで質の向上に取り組んでいる。さらに、内部・外部研修を年間計画に沿って実施し、職員の専門性向上を図っている。	
改善できる点／改善方法：	
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 ㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 自己評価や第三者評価の結果から課題を把握し、改善策と実施計画を立てて組織的に取り組んでいる。評価結果は文書化して年度計画に反映し、必要に応じて見直している。また、業務支援ソフトを活用して計画や記録を共有し、クラス会議や各種会議等を通して、園全体の課題を整理し、継続的な質の向上に努めている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 ㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 運営規程や事務分掌表で園長の役割と責任を明文化し、職員会議や研修の場で随時共有している。また、園長は経営管理に関する方針を文書化し、園長通信等を通じて職員に発信している。非常時についてや、園長不在時の権限移譲を含むマニュアルを整備し、全職員の役割を明記した文書に基づい	

て研修や訓練を行い、緊急時でも安全に園運営を継続できる体制を整えている。		
改善できる点／改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点： 事業運営に関わる関係法令や法令遵守に係る研修を通して、職員のコンプライアンス意識の向上に取り組んでいる。園長を中心に全職員が法令を正しく理解できるよう、年2回以上の研修や法改正時の情報共有を行い、業務マニュアルにも関連法令を明記している。また、年1回の自己点検で実践状況を確認し、必要に応じて指導やマニュアルの見直しを行うことで、日々の業務に適切に反映できる体制を整えている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点： 保育の質向上に向け、園長は日常的に職員の意見を聞き取り運営に反映するとともに、定期的な面談で相談や助言を行う等して指導力を発揮している。研修は年間計画に基づき外部・内部研修を実施し、現場の課題に応じたテーマを選定して職員教育を充実させている。研修内容は職員会議で共有し、保育実践について意見交換を行うことで、職員が主体的に学びと質の向上に取り組める体制を整えている。		
改善できる点／改善方法：		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点： 園長は、人材確保や職員育成、効率的な業務体制の構築、ICT化や書類の簡素化を進めつつ、費用対効果を踏まえた経費節減と業務改善に取り組んでいる。年度ごとの重点目標に基づき改善計画を立て、職員の意見を取り入れながら課題を共有し、必要に応じて業務分担や役割を見直す等、柔軟なマネジメントを実践している。また、収支状況等の数値を職員と共有し、限られた資源を有効に活用できるよう組織全体で意識を高めながら、適正な職員配置と経営体質の強化に努めている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	

14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 人事の裁量権は法人本部にあるが、施設として必要な人材を本部に伝え、養成校や関係機関との連携による見学・体験の受け入れ等を通して人材確保に努めている。また、法人全体で人事考課制度を導入し、年2回の評価結果を踏まえて職員が自己目標を設定できる仕組みを整え、目標管理制度を活用して職員エンゲージメントの向上を図っている。さらに、研修制度の充実や資格取得の奨励、相談体制の整備等、育成と定着に向けた取り組みも強化している。		
改善できる点／改善方法：		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 人事考課については、法人で客観的な人事考課マニュアルとレベル基準を整備し、目標管理制度と連動した総合的な人事管理を行っている。評価は本人、上司、上席が基準に基づいて実施し、結果は面談を通してフィードバックし、目標達成度の確認や自己研鑽につながる取り組みを支援している。また、職員の希望や適性を踏まえて配置を検討し、キャリアパスモデルを示すことで、将来像を描きながら意欲的に働ける環境づくりに取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 職員の有給消化率や時間外労働は定期的に把握し、家庭事情に応じて休暇が取得しやすいよう配慮している。個別面談や随時相談を通して職員の意向や変化を早期に把握し、必要な支援や勤務調整を行う等、相談体制の充実に努めている。また、時間有給休暇制度の活用等、柔軟な働き方を可能にすることで、ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい就業環境づくりに取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 目標管理制度を活用し、年度当初に個人目標を設定し、半年後の振り返りを含むフィードバック面接を行い、達成状況进行评估している。面談では、目標の妥当性や達成状況を確認しながら、職員が意欲を持って職務に取り組めるよう支援している。		
改善できる点／改善方法：		

18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 年間研修計画を策定し、新人研修や階層別研修、外部研修等の体系的な研修体制を整えている。新任職員にはOJTを通じて実践を支援し、必要に応じて行政や関係機関の研修受講も促している。研修後は参加職員が伝達講習を行い、受講状況や成果を記録して、次年度の研修計画の見直しに反映させている。		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 個人研修記録を整備し、職員一人ひとりの希望やスキルに応じて、研修機会を計画的かつ公平に確保している。経験年数や職位に応じた階層別研修やテーマ別研修に加え、外部研修の案内・推薦を行い、興味や課題意識に基づく研修申請にも対応している。必要に応じて費用負担や勤務調整の支援を行い、OJTによる実践的な学びも組み合わせている。研修後は内容の共有や振り返りを行い、学びを園全体に広げている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 実習生受け入れにあたり、マニュアル整備と指導担当者の配置を行い、養成校と連携して個別の実習内容を調整している。実習前のオリエンテーションやカンファレンス、振り返りを通して学びを支援し、実習後も学校と評価や課題を共有して、次年度の受け入れに反映している。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： ホームページで施設概要、サービス内容、自己評価・点検表、第三者評価結果、計算書類や現況報告書（WAMNETリンク）等の事業運営に関わる情報を幅広く公開し、運営の透明性の確保に努めている。また、園だよりや地域向けの情報発信を通じて、保育の様子や運営方針を周知する等、地域や保護者に向けて活動内容を分かりやすく伝えることで、透明性の高い運営を実現している。		

改善できる点／改善方法：		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 法人で経理規程を整備し、外部監査法人の監査や会計事務所の指導を受けながら、経理処理や資金管理の適正性を確認している。監査結果や収支状況を法人内で共有し、必要な改善を行うことで、透明性と健全性の高い運営に努めている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 園は地域との関係づくりを重視し、基本方針に基づいて、地域団体や外部事業者と連携した活動を継続している。子育て支援や情報発信にも力を入れ、多様な媒体を活用して、地域とのつながりと運営の透明性を高めている。		
改善できる点／改善方法：		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 地域連携と人材育成を重視し、ボランティアや学生の受け入れを組織的に進められる体制を整えている。受け入れ手順や担当者配置により、柔軟に対応できる環境を維持し、多様な学びの機会を提供している。安全配慮を含む準備を行い、地域に開かれた施設としての役割と福祉人材育成に寄与している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 地域の関連機関や関係団体とは日常的に連携を図り、子どもや家庭を支えるための協力体制を継続して強化している。職員間では、関係機関との連携内容や支援経過を定例会議等で共有し、共通認識のもとで対応できる体制を整えている。また、地域の支援機関とも日頃からつながりを持ち、必要に応じて情報提供や協働による支援を行っている。保護者支援や養育相談では専門機関と連携し、ケー		

ス会議を通じて支援方針を共有する等、専門性を活かした連携を進めている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 地域の福祉ニーズについては、子育て支援事業や園庭開放、相談活動等を通して日常的に把握に努めている。また、地域福祉の向上を重要な役割と位置づけ、運営委員会の開催や地域福祉関係団体との連携を継続して行い、地域課題の共有と協力体制の強化を図っている。新園舎建設に伴う移転に際しては、地域住民の理解と協力を得るため、自治会や関係機関と丁寧に連携しながら調整を進めている。さらに、園長が学校運営協議会の委員を務める等、学校や地域との橋渡し役としての機能も担い、地域と双方向の関係を築きながら、施設として地域全体の福祉向上に寄与している。		
改善できる点／改善方法：		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 今後、地域社会の公器として、社会福祉法に規定された事業にとどまらない地域貢献活動の重要性が高まっている。園では、地域の子育てニーズに応じて園庭開放や相談事業、地域交流を継続するとともに、地域清掃や防災協力等の公益的な取り組みも進めている。また、地域の福祉課題に対応するため、行政や支援機関と連携し、必要な家庭への支援や専門的助言を行っている。防災面では地域住民との合同訓練を実施し、災害時の支援体制を整備している。さらに、法人全体でSDGsへの取り組みを進めながら、地域の安心・安全な生活の実現に向けて役割を果たしている。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 園の理念・方針では「一人ひとりを大切にし、生きる力を育む」ことを掲げ、子どもの人権を尊重した保育を基本姿勢としている。この考えを標準的な保育方針にも明記し、文化の違いを受け入れ、互いを尊重する姿勢を育むため、職員には人権や多様性に関する研修を継続的に実施している。保育		

の場面では、性に関する固定的な見方を避け、多様性を理解できるよう配慮し、絵本等を活用して子どもにも分かりやすく伝えている。また、外部講師を招いた研修を通じて、子どもを尊重した保育に関する理解を深め、その内容を保護者とも共有している。		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育提供が行われている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 子どものプライバシー保護については、マニュアルを整備し、研修を通して職員の意識向上を図るとともに、日常生活場面で適切な支援に努めている。園では、子ども一人ひとりの人権を尊重し、安心して過ごせる環境づくりを重視しており、更衣や排泄等のプライバシーへの配慮が求められる場面では、羞恥心に寄り添った対応を徹底している。また、個人情報の取り扱いについては基準を明確にし、掲示物への記載方法を含めて全職員に周知し、日常的に遵守している。さらに、否定的な言動を避け、子どもの人格を尊重する姿勢を共有することで、職員全員が子どもの心に寄り添った支援を行えるよう取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： ホームページやパンフレットを通して園の保育内容や取り組みを分かりやすく発信し、保育所選択に必要な情報提供を行っている。また、見学や園庭開放の要望にも柔軟に対応し、実際の保育環境を確認できる機会を設けている。利用を希望する保護者には、施設概要や保育方針、利用手続きについて丁寧に説明し、必要な情報を十分に共有した上で同意を得ている。		
改善できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 入園時には案内資料や重要事項説明書を用いて分かりやすく説明し、必要に応じて丁寧な個別対応も行っている。保育内容や生活の流れに変更がある場合は、重要事項説明書を用いて読み合わせを行い、保護者が十分に理解できるよう配慮している。		
改善できる点／改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 転園や就学に際して、子どもの生活が途切れないう、継続性に配慮した支援を行っている。必要		

な情報は関係機関へ適切に引き継ぎ、卒園後も相談できる体制を整えることで、子どもと保護者が安心して次の環境へ移行できるよう、継続的に支えている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取り組んでいる。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 日常的なコミュニケーションやアンケートを通して利用者の声を継続的に把握し、その意見を保育サービスの改善に反映している。保護者との信頼関係を大切にしながら、満足度向上に向けた取り組みを継続的に進めている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 苦情解決の体制を整備し、窓口や第三者委員の連絡先を園内掲示やホームページで周知する等、利用者が相談しやすい環境づくりに努めている。また、園内には意見箱を設置し、匿名での投函も可能とすることで、日常的に意見を伝えやすい仕組みを整えている。寄せられた苦情や質問については、保護者への配慮を第一に、必要に応じて内容を共有しながら職員全体で対応を検討し、経過を記録している。		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 保護者が意見や相談を気軽に伝えられるよう、日常的なコミュニケーションと相談環境の整備に取り組んでいる。園内には意見箱を設置し、相談体制を明確にすることで、保護者の声を尊重するとともに、共有しながら、園全体で課題解決に向けた対応ができる仕組みを整えている。また、相談しやすいスペースを確保する等、保護者が安心して意見を述べられる環境づくりにも努めている。		
改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 日頃から送迎時等の関わりを通して積極的に保護者とコミュニケーションを図り、意見や相談に丁寧な耳を傾けることで、良好な関係づくりに努めている。寄せられた意見や相談には、整備された対応マニュアルに基づき、迅速に対応できる体制を整えており、必要に応じて、園長や主幹保育教諭が		

情報を共有し、職員会議等で協議している。また、内容によっては法人本部とも連携し、体制の見直しを行うことで、保育の質向上に向けた対応を進めている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点：		
改善できる点／改善方法： 事故対応マニュアルを整備し、迅速な対応手順を明確にするとともに、法人内にリスクマネジメント委員会を設置し、組織的かつ継続的な安全対策に取り組んでいる。園では、日常の保育で発生したヒヤリハット事例を記録し、定期的な会議で全職員が共有できるよう報告を行い、必要に応じてリスク要因を協議しながら再発防止策を検討している。特に緊急性の高い内容については、朝礼で速やかに周知し、職員間で共通認識を持つことで、事故の未然防止につなげている。また、遊具や園舎内外の点検整備を定期的実施し、安全確保に努めている。		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 感染症対応マニュアルを整備し、法人内に感染症対策委員会を設置することで、発生前から発生後までを見据えて、計画的かつ迅速な対応体制を構築している。園では看護師を中心に、感染症の予防方法や緊急時の対応について定期的に研修を行い、職員全体の知識と対応力の向上を図っている。また、子どもの体調変化には日常的に細やかに注意を払い、早期発見・早期対応につなげている。保護者とも丁寧に連携し、平時から有事まで一貫した感染症対策に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 防災マニュアルを整備し、法人内に危機管理対策室や防災委員会を設置することで、災害時の安全確保に向けた体制を整えている。BCPに基づき、年1回の大規模災害を想定した避難訓練や引渡し訓練を実施し、保護者との安否確認や引渡し手順も確認している。非常食や生活物資は備蓄リストとマニュアルに沿って管理し、調理員も訓練に参加する等、非常時の対応力向上に努めている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	

40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 保育理念や保育方針に基づき、全体的な計画や指導計画、月案・週案を作成し、計画的に保育を実践している。また、各種マニュアルを整備し、職員会議や研修を通じて内容を共有することで、職員への周知と理解の促進に努めている。		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 各種規程やマニュアルを定期的に見直し、職員会議等で支援方法を検討することで、保育サービスの標準化に取り組んでいる。保護者や職員からの意見を踏まえ、必要な改善を随時検討し、実践に反映することで、現場に即した標準的な保育の維持・向上を図っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 統一したアセスメント様式と手順に基づいて、子どもの発達や家庭状況を把握し、その結果をもとに指導計画を作成している。支援が必要な子どもには個別計画を作成し、保護者との面談を通じて意見を聞きながら、園と家庭が連携して保育を進めている。計画や記録は、年齢に応じて定期的に見直し、パソコンネットワークシステムで共有することで、職員間の共通理解を図っている。また、必要に応じて朝礼等で迅速に情報共有し、計画的で一貫した保育実践につなげている。		
改善できる点／改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 指導計画の見直しについては、職員間で課題を共有し、職員会議で評価・分析を行いながら、毎月の振り返りや必要に応じた随時の見直しを実施している。園長や主幹保育教諭が計画を確認し、助言を行うことで、子どもの発達やニーズに応じた計画的な改善につなげている。年間を通じて大きな変更が必要な場合は、保護者に説明し、意向を踏まえて進める等、丁寧な合意形成を図っている。見直しの内容は次回以降の計画に反映し、継続的な質の向上につなげている。また、法人内の育成研修課による段階的な研修を通じて、職員の専門性向上と計画の質の維持・改善を支えている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		

44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 業務支援ソフトを活用して、子どもの発達や生活の様子、保育の経過を記録・共有し、職員全体で一貫した支援につなげている。記録の標準化に向けて記録内容や視点を指導し、適切な管理体制を整えている。また、アレルギーや健康情報等の個別に配慮が必要な事項は紙媒体で管理し、必要な職員が確認できるよう整理している。		
改善できる点／改善方法：		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 記録の管理体制については、個人情報保護に関する規程やマニュアルを整備し、記録の保管・保存・廃棄の方法を明確にして適切な取り扱いを徹底している。業務支援ソフトを活用したＩＣＴ管理を進める一方で、アレルギーや健康情報等の重要な個別情報は紙媒体で管理し、必要な職員が確認できる体制を整えている。また、個人情報保護や記録管理に関する研修を定期的実施し、全職員が共通理解を持って取り組めるようにしている。		
改善できる点／改善方法：		

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ－１ 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 全体的な計画は、子どもや保護者の状況、地域の実態を踏まえて毎年見直しており、その内容は職員会議で共有した上で、年齢別の年間指導計画や学級経営方針に反映している。年度末には自己評価を基に理念や方針を全員で再検討し、文章化することで、職員間の共通理解を深めている。また、日々の子どもの姿については、クラス・学年の担当職員が継続的に情報を共有している。こうした日常的な情報交換を積み重ねることで、保育者主体に偏らず、子ども一人ひとりの興味や関心を起点に活動が広がる計画づくりを実現している。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ－２ 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１） 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 子どもの発達を丁寧に捉えながら、自主性の育ちを大切にした保育を進めている。五感を刺激する環境を整え、保育者自身が楽しさを実感できるよう工夫された環境構成のもとで、子どもが「やってみたい」と思える意欲を育てている。また、クラス単位ではなく、一人ひとりの興味や関心を尊重し、遊びを発見し継続できるような心地良い生活環境づくりに取り組んでいる。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（２） 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 業務支援ソフトを活用して日々の記録を行い、子ども一人ひとりの個性や気持ちを丁寧に把握しながら、その子に応じた保育を実践している。特に配慮が必要な子どもについては保護者と密に連絡を取り合い、適切に対応できる体制を整えている。また、職員体制を手厚く確保し、複数の視点で子どもを理解できるようにすることで、一人ひとりに寄り添った活動や援助が可能となっている。保護者から得た情報も職員間で共有し、園全体で子どもを受け止める姿勢が徹底されている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（３） 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 子どもの主体性を大切にしながら、基本的な生活習慣が身につくよう丁寧な援助を行っている。トイレの靴置き場の区切りや手洗いの手順ポスター、衝立を設けた安心できる排泄空間等、子どもが視覚的に理解し、自分のペースで取り組める環境を整えている。また、箸の使用やオムツの移行など生活習慣の獲得に向けては家庭と連携し、子どもの実態に応じた支援を行っている。さらに、朝のミーティングでは保育者が活動のきっかけを示しつつ、子ども自身が環境に働きかけ、興味を広げながら主体的に選んで活動できるよう工夫している。	

改善できる点／改善方法：	
IV－２－（４） 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 身近な自然に触れたり、戸外で十分に身体を動かしたりできる環境を整え、「静」と「動」のバランスを意識した保育を展開している。子どもの姿について保育者同士が日常的に話し合い、興味や発達に応じて環境を柔軟に変化させることで、子どもが主体的に活動を広げられるよう工夫している。また、教材や遊びの道具は保育者が一方的に与えるのではなく、子どもの動きや発想に合わせて一緒につくり出すなど、環境を子どもと共につくる姿勢を大切にしている。	
改善できる点／改善方法：	
IV－２－（５） 乳児保育（０歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 乳児保育（０歳児）では、看護師と保育士が協力し、担当制に偏らず全員で子どもに愛着をもって関わることで、子どもが安心して過ごせる環境を整えている。長時間を園で過ごす子どももいることから、家庭的な雰囲気づくりを大切にするとともに、保護者と連絡帳や登降園時の丁寧なやり取りを通して密に連携している。また、充実した職員体制のもと、午睡時にはクラス担当全員で子どもの様子を共有し、一人ひとりの状態に応じた援助ができるよう工夫している。	
改善できる点／改善方法：	
IV－２－（６） ３歳未満児（１・２歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 子ども一人ひとりのタイミングに合わせておむつ交換やトイレ誘導を行い、着替えも自分で選び、自分でやってみようとする気持ちを大切に援助している。保育室には、興味を引き出す壁面構成や生活の模倣ができる教材が整えられ、遊びをきっかけに自発的な行動が広がるよう配慮している。また、複数担任制を活かし、特定の職員が継続して関わることで愛着形成が安定し、子ども理解もより丁寧に行われている。	
改善できる点／改善方法：	
IV－２－（７） ３歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： ３歳以上児のクラスでは、発達に応じて主体的に活動できる環境を整えており、３歳児はコーナー遊びの中で自分を十分に発揮し、４歳児は友達とのつながりを楽しみながら活動を深め、５歳児はクラス全体で水遊びを楽しむなど、年齢に応じた広がりが見られている。廃材製作や共同制作においても子どもの発想を生かした活動が豊富で、掲示された作品はいずれも個性があり、日々の保育が子どもの表現を大切にしていることがうかがえる。また、生活の流れも柔軟に調整され、子どもが集中したい活動にじっくり取り組めるよう配慮している。	
改善できる点／改善方法：	
IV－２－（８） 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 保護者や関係機関と連携して個別の指導計画を作成し、クラスの計画と関連付けながら日々の保育を進めている。現在、特別な環境調整を必要とする子どもはいないものの、一人ひとりの特性に応じた環境づくりと丁寧な関わりを大切にしている。園内にはマークや図式などの視覚的支援が随所に取り入れられ、低年齢児や障がいのある子どもにとっても安心して過ごせる環境となっている。また、	

保護者や関係機関との情報共有も丁寧に行われている。	
改善できる点／改善方法：	
IV－２－（９） それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○a・b・c
良い点／工夫されている点： 延長保育では、通常保育終了後に長時間保育担当へ丁寧に引き継ぎを行い、口頭や伝達ボードを活用して子どもの様子や必要な情報を共有している。子どもの在園時間や生活リズム、健康状態に応じた過ごし方を調整する等、ゆったりと安心して過ごせる環境づくりに努めている。18時以降は合同保育となり、補食として温かいご飯のおにぎりを提供する等、子どもの生活を支える工夫も見られる。保護者の働き方の変化に伴い、利用児は減少傾向にあるものの、長時間保育も子どもにとって大切な生活の一部であることを踏まえ、職員と保護者が密に連携しながら支援を進めている。今後とも、長時間保育の年間計画や標準的な保育方法の共有をさらに進める等、より見通しをもった保育の展開が期待されるものである。	
改善できる点／改善方法：	
IV－２－（１０） 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	○a・b・c
良い点／工夫されている点： 小学校へのスムーズな接続を大切にし、交流活動や就学体験等、様々な機会を通して連携を深めている。近隣の小学生が園を訪問し、一緒に遊ぶ中で互いの理解が育まれる等、子どもが安心して就学を迎えられる環境づくりが進められている。また、保護者に対しても就学に向けた情報提供や相談の場を設け、家庭と園が同じ方向を見て子どもを支えられるよう丁寧に関わっている。小学校とも、子どもの育ちを共に考える視点を共有している。	
改善できる点／改善方法：	

IV－３ 健康管理

	第三者評価結果
IV－３－（１） 子どもの健康管理を適切に行っている。	○a・b・c
良い点／工夫されている点： 年間の保健計画を月ごとの指導計画に反映させ、計画的に健康管理を進めている。園児の既往歴やアレルギー情報は全職員が把握できるよう徹底されており、疾患のある子どもについては写真付きの詳細ファイルを事務室で管理し、誰が対応しても迅速かつ適切に処置できる体制を整えている。毎朝の朝礼では、全クラスの情報を口頭と書面で共有し、子どもの体調やけがの状況を全職員が把握できるようにしている。また、感染症の流行状況や園での健康管理の取り組みは、保健だよりやメール配信を通して保護者へ随時伝え、家庭と園が連携して子どもの健康を守る体制を築いている。	
改善できる点／改善方法：	
IV－３－（２） 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	○a・b・c
良い点／工夫されている点： 健康診断・歯科健診・耳鼻科健診の結果を保護者へ丁寧に通知し、必要に応じて受診を促す等、健診結果を日々の保育に適切に反映している。登降園時の視診・触診や日中の体調観察も継続して行い、全職員が子どもの心身の状態を共有しながら健康管理に取り組んでいる。健康管理に関する方針や年間の取り組みは入園説明会や園だよりで明確に伝え、連絡帳や個別面談を通して保護者と状況を共有している。	

改善できる点／改善方法：	
IV－3－（3） アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 医師の指示書や保護者からの情報をもとに、一人ひとりの症状に応じた詳細な対応計画を作成し、保護者・管理栄養士・担任・調理員が参加する毎月のアレルギー検討会で内容を確認している。除去食は、子どもが負担や疎外感を感じないよう席の配置や配膳の複数チェックを行う等、安全面と心理面の両方に配慮して提供している。また、朝礼で毎日個々の食事対応を必ず確認し、緊急時対応の研修やシミュレーションも定期的実施することで、誰もが適切に対応できる体制を整えている。日頃から小さな変化にも気づけるよう、情報共有を徹底している。	
改善できる点／改善方法：	

IV－4 食事

	第三者評価結果
IV－4－（1） 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 管理栄養士が成長に必要な栄養を考えた独自の献立を作成し、安全でおいしい食事を提供している。調理の様子を子どもが身近に感じられる環境づくりや、玄関先での給食サンプル展示等、食への興味を高める工夫も行っている。食事の場面では、箸の持ち方へのさりげない支援や、一人ひとりの食欲や体調に合わせた量の調整を行い、無理なく楽しく食べられるよう配慮している。さらに、五感を使った食育活動や栽培・クッキング保育を通して、食材への関心や「食べる楽しさ」を育てている。保育者が子どもと和やかに食を共にし、会話を楽しむことで、栄養面だけでなく豊かな心の育ちにもつながっている。	
改善できる点／改善方法：	
IV－4－（2） 子どもがおいしく安心して食べることでできる食事を提供している。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 管理栄養士が子どもの食べ具合や保育者の声を日々確認し、成長に必要な栄養を満たしつつ、季節や地域の食材を取り入れた献立づくりに努めている。味覚形成を考え、薄味を基本にだし旨味を活かした温かい手作りの食事を提供する等、子どもが安心しておいしく食べられるよう工夫している。衛生管理についてもマニュアルに基づき残食状況の記録や点検表の整備が行われ、安全性を確保した調理体制が整っている。食育活動では、旬や国産食材への理解を深める取り組みが管理栄養士の指導のもとで行われ、子どもが食に親しみ、楽しみながら学べる環境がつけられている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象V 子育て支援

V－1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V－1－（1） 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 園だより・クラスだより・給食だより・保健だよりなど、多様なお便りを通して家庭と園をつなぐ情報発信を行っている。3～5歳児はホームページや日報で一日の活動を伝え、0～2歳児は連絡帳	

で遊びや健康状態を細やかに共有するなど、年齢に応じた方法で家庭との連携を図っている。家庭からの連絡事項は朝礼や職員会議で共有し、送迎時の対話も大切にしながら、子ども一人ひとりの生活がより豊かになるよう丁寧に情報交換を行っている。また、毎月定期的に「おきがる相談日」を設け、保護者が気軽に相談できる機会を確保している。
改善できる点／改善方法：

V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2-（1） 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 園長や主幹が日頃から積極的に声をかけ、保護者が気軽に相談できる雰囲気づくりに努めている。必要に応じて専門機関と連携し、より専門的な支援につながる体制も整えている。各クラスの様子は毎月のクラスだよりで分かりやすく伝えられ、保護者から好評を得ている。また、「おきがる相談日」を設けることで、保護者が悩みを話しやすい機会を確保している。相談を受けた職員は、園長や主幹保育教諭など経験豊富な職員から助言を受けられる体制があり、職員の専門性向上にもつながっている。	
改善できる点／改善方法：	
V-2-（2） 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 虐待防止マニュアルに基づき研修を重ね、職員が共通の理解をもって予防に取り組んでいる。登園時の視診では子どもの身体の変化をさりげなく確認し、日々の保育の中でも心身の状態を丁寧に見守ることで、早期発見につながる体制を整えている。家庭での虐待が疑われる場合には、関係機関への連絡手順を職員間で共有し、相談内容や経過を記録しながら、子ども相談センター等と連携して迅速に対応している。また、悩みを抱える保護者には園から積極的に声をかけ、気持ちに寄り添うことで孤立を防ぎ、予防的な支援につなげている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象VI 保育の質の向上

VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
VI-1-（1） 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： チェックリストを用いて年2回の自己評価を行い、保育者が自らの保育を客観的に振り返る機会を確保している。クラスや園全体で話し合う場も設けられ、日々の保育記録や日誌をもとに実践を見直し、子ども一人ひとりの成長に寄り添った保育実践の改善につなげている。また、必要とする研修には職員が主体的に参加し、園内研修で学びを共有することで専門性の向上を図っている。事例検討では援助方法を議論し、よりよい関わり方を模索するなど、継続的な学びと実践改善が組織的に進められている。	

改善できる点／改善方法：

評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

Ⅶ－１ 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ－１－（１） 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 登園終了後の時間帯は玄関を施錠し、オートロック式の出入口でインターフォンによる身元確認を行う等、外部からの侵入を防ぐための厳格な安全対策を整えている。不審者侵入を想定した訓練を毎月実施し、不審者対応マニュアルに基づく研修を通して、全職員が実践的な対応力を身につけている。また、警察署とも連携し、定期的なパトロールを依頼する等、地域や関係機関と協力した安全確保の取り組みも進めている。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－２ 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ－２－（１） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 個別懇談会や保育参観、相談しやすい環境づくり等、保護者支援を組織的に進めている。保育参加では、保護者が子どものクラスに入り、園での生活や保育者との関わりを実際に体験できる機会を設け、園での様子をより深く理解できるよう工夫している。また、メール配信やホームページ、掲示板等を活用して子どもの成長や日々の様子を丁寧に伝え、0歳児クラスから保育や行事に参加できる機会を広げている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅶ－２－（２） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 保護者会等と連携し、意見交換や協力体制の構築を進めている。保護者会役員との意見交換会には職員も参加し、園からの報告や保育・運営に関する要望を丁寧に受け止め、日々の保育に活かしている。また、アルバム委員会（5歳児クラス在園児保護者の会、前年卒園児保護者の会）等の活動には園職員も積極的に協力しており、保護者組織の取り組みを支える姿勢が見られる。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	㉠・b・c
良い点／工夫されている点： 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に独自の保育要録を作成し、子どもの発達を丁寧に捉えながら、進学先の小学校へ指導上の参考となる情報を確実に引き継いでいる。小学校教員の来園による観察や意見交換も行われ、互いの理解を深める連携が図られている。また、進学先が複数校区にわたることから、近隣小学校との交流を積極的に行い、授業見学や活動体験を通して子どもが学び	

への期待を持てるよう工夫している。3月には1年生担当予定の教員が来園し、子どもの姿を直接見て関わる機会を設けている。

改善できる点／改善方法：